

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|--------------|----|--------|---------------|
| ○事業所名 | 夢門塾ゆうゆう奈良津1組 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 12月 1日 | | ～ | 2025年 12月 30日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 42 | (回答者数) | 26 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 1日 | | ～ | 2025年 12月 30日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) | 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 10日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 利用定員とスペースのバランスが適切に保たれており、集団ごとに活動場所を分けるなど、一つの空間に密集しすぎない環境づくりが行われています。運動室・静養室を分けた構造や、段差の少ない設計など、障害特性に配慮した環境整備がなされており、子どもが安心して過ごせる環境が整っています。 | 支援開始前・終了後に必ずミーティングを行い、その日の支援内容や役割分担、振り返りを共有しています。PDCAサイクルを意識し、職員全員が業務改善に参画できる体制を整えています。 | 学習スペースについて、障害特性に応じた刺激調整やレイアウト改善を進め、より集中しやすい環境づくりを行っています。 |
| 2 | 利用定員とスペースのバランスが適切に保たれており、集団ごとに活動場所を分けるなど、一つの空間に密集しすぎない環境づくりが行われています。運動室・静養室を分けた構造や、段差の少ない設計など、障害特性に配慮した環境整備がなされており、子どもが安心して過ごせる環境が整っています。 | 支援開始前・終了後に必ずミーティングを行い、その日の支援内容や役割分担、振り返りを共有しています。PDCAサイクルを意識し、職員全員が業務改善に参画できる体制を整えています。 | 家族支援・きょうだい支援について、参加しやすい時間帯や内容を検討し、交流機会をさらに充実させていきます。 |
| 3 | 保護者満足度が非常に高く、「子どもが楽しく通えている」「成長を実感している」「先生方が寄り添ってくれる」といった声が多数寄せられています。連絡帳やアプリ、送迎時の丁寧なやり取りにより、保護者との信頼関係がしっかりと築かれています。 | 安全管理体制が非常に充実しており、BCPの策定、防災活動週間の実施、各種マニュアル整備、ヒヤリハット共有、虐待防止研修などを継続的に行っています。訓練の様子も保護者へ丁寧に共有されています。 | 地域交流や見学会、行事開催など、地域に開かれた事業所づくりを段階的に進めていきます。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 学習スペースについて、高学年児の活動や人数によっては狭さを感じる場合があるとの声があります。 | 施設構造や利用児の成長に伴い、活動内容によって環境調整が必要となる場面があります。 | 活動内容や人数に応じたスペース活用を継続的に見直し、安全で集中しやすい環境づくりを進めます。 |
| 2 | 第三者評価を現時点では実施しておらず、外部視点による評価機会が限定的です。 | 日常業務の中で、外部評価や新たな交流機会の調整に時間を要しています。 | 外部研修や第三者の視点を段階的に取り入れ、支援の質向上につなげます。 |
| 3 | きょうだい支援や地域住民との交流について、十分に周知・実施できていない面があります。 | きょうだい支援や地域交流は、企画・日程調整・ニーズ把握が課題となっています。 | きょうだい支援・地域交流イベントについて、分かりやすい案内と参加しやすい形を検討していきます。 |